

タイトル

「恐怖！ヤンデレ幼馴染の脅迫！カプセルホテル密室子作り」

ヤンデレ幼馴染みにカプセルホテルに監禁されて
子作りセックスを強要させられる

キャラクター

◆澄香 CV:陽向葵ゆかさん
17 歳 JK

束縛はするけれど、愛してあげると結構デレしてくれる幼馴染

162cm 49kg

88/58/85

青髪、長髪。童顔。

趣味…お菓子作り

部活…家庭科部

血液型A型

誕生日 5月2日

おっとり、まったり系

頭があんまりよくない

ヤンデレの幼馴染

手編みのマフラーを編んであげたり、料理を食べさせてあげたり家庭的な女の子。
アットホームな雰囲気と裏腹に、他の女の子がチラつく人と人が変わったように発狂する。

◆主人公 聞き手 16 歳
イケメン設定。すみかの幼馴染。とにかくモテる。

トラック紹介

「ねえ、このノート君の字じゃないよね？」

お昼過ぎまで寝ていたあなたは幼馴染の澄香に起こしてもらいました。

そのまま手作りのアップルパイを食べた後に、机の上にあるノートに目をやると突然低い声でノートの詳細を聞いたのですでした。

2. 幼馴染のおっぱいに甘えてね。

発狂した澄香にフライパンで殴打されたあなたは近場のカプセルホテルに拉致されてしまいました。

そこは女部屋の一室で半裸姿でした。カプセルから出ることは叶わず監禁されることに。

澄香に抱きしめられたままいかかわしい行為を甘んじて受け、だんだんと逆らう氣力を失くしていくのです。

3. おちんちんをもつとしごいてあげる

澄香の欲求はエスカレートしていきあなたの局部を露出させていじりだすのです。

その攻めの激しさに身体を震わせても女性ブースの中で声を出すことはできないためひたすら声を上げるのを我慢し続けなければなりません。

いっぼうで澄香ももつと気持ちよくしてほしいと強請ってきます。

彼女に怯えながらも懸命に「奉仕するあなたの姿勢」に澄香は感激して女性ブースの中で大声をあげてしまうのです…。

4. 耳なめてあげる。声をあげて社会的に死のうか？

今度はあなたの性器だけでなく耳まで舐めて全身を震えあがらせ攻めてくるのです。

澄香はあなたが気持ちよくなって声をあげる姿を要求してきます。

まるで誰かにこの女性ブースに二人でいるのを見つけてもらうために。

5. 君が中出しするまで腰を振るのをやめない！【騎乗位】

精神的にあなたは追い詰められて澄香と騎乗位セックスを初めてしまいます。

「この中に出すまで君のことを離さない

初めからこれが目的で、君のことを連れてきたんだよ！

私の子供を作るの。そうすれば君はもう私から逃げられない。

他の女なんて関係ない。一生私のそばにいるの…くふふ」

6. そんなに私の赤ちゃん作るのが嫌なのかな？【中出し】

澄香は騎乗位セックスで果てたのにあなたは中出しをすることができませんでした。

「今私の中に出さなかったこと、後悔させてあげるよ…」

そう言って彼女は再び腰を振り始めるのでした。

7. 幼馴染みとそれから6ヶ月後

カプセルホテルの一件がありそれから10か月が過ぎました。

あなたと澄香は高校を退学になり晴れて一緒にいることができるようになったのですが…

本編

1. ねえ、このノート君の字じゃないよね？

起きてー。起きてー。

あ？お疲れー。

ねえ、もうお昼だよ。いくら休みだからっていい加減起きようよお。
せっかく起きたんだから布団から出よう？
ね、いい子だから。そうだ。

キミが好きなアップルパイ焼きて来たんだよ。

もお！現金だなあ、ふふ。

いいよ。ちよつと早いけどおやつにしようか？

うふふ。どうかな？

じっくりりんごを昨日から煮込んで作ったから柔らかくなっているはずなんだけど。
そうでしょ、そうでしょ。うふふ(*、△、*)喜んでくれてよかった。

私があげたセーター、それ、まだ着てくれてるんだね。
暑くない？

あ、やっぱりちよつと暑いんだ。
ちよつと窓あけよつか。

ふうー。いい天気だねえ。

あ、こらあ！何ベッドに戻ろうとしてるの？
今日は駅前に出かけようって約束じゃん。

はあ、ほんと怠け者なんだから。

私がないとどこまでもだらけるんだもん。

仕方ないなあ。(嬉しい)

私も一緒に横になっちゃおうかな

あれ…机の上にあるノート。

これ、キミの字じゃないよね？…どうしたのこれ？

中島（なかしま）さんに借りた？キミのクラスで委員長やってる…。

たしか、隣の席なんだっけ…。

ふーん。（ここから明らかに不機嫌そうに）

それで？どっちがいったの？

貸してってキミが言ったの？それとも…

そうなんだ。

テスト前にノート貸すとか、随分お勉強できるんだね。

うん。うん…。

ふーん。

ほんとだ。わざわざ君がわかりやすいように、テストに出そうなところまでまとめてくれる。

っ…

そうだね、私なんて授業寝てる君と同じぐらいの点しか取れないし。

でも、だから！？

勉強ができてなんの役に立つの！？

ガリ勉強して大学にいつても結局にいいように使われて終わるだけじゃない！？

私なら君のこと癒やしてあげられる！

君の好きなお料理もお菓子も作ってあげられるし、

家事も完璧にこなして支えになってあげられるっ！

どんなに君が疲れて遅く帰ってきてても、毎日笑顔で迎えてあげるし
君の特殊な趣味だって喜んで付き合っただけあげるっ！

なのに…そんな女のノートなんか借りて…
一体どういうつもりなのかな？

ああ、そっか。

あいつが不安を煽ってきたんだね。勉強しないとロクな大人にならないとか、
今から受験勉強対策しないと浪人するとか。…いかにも言いそうだもんねえ。

待ってて。♪

私がいかに学校の勉強なんて無力で無意味かって証明してあげるから。(意気揚々と)
キミを不安にさせた報いを…。(→対照的に低い声で)

なあに？この手は…

どうして止めるのかなあ？

私はキミにちゃんと現実を気づかせてあげようとしてるのに、なんで？ねえ、なんで？

そっか。あの女がいけないんだ。キミのこと巧みに洗脳して…。

ホントは、こんなことしたくないけど、仕方ないよね。

そおい！

はあ、はあ、はあ。

フライパンを持ち歩くのも女の子の嗜みだからね。

うふ、うふふふ…

2. 幼馴染のおっぱいに甘えてね。

ふふ、んふ♪ぎゅー。ふふ。

すう、すう。(においをかぐ) はあ、はあ //

夢みたいだなあ、大好きな君と、こんな近くにいられるなんて。

あ、目、覚ました？おはよう。

起き上がろうとすると頭ぶつかるよ。気をつけて。

ここはキミの家の反対側にあるカプセルホテルだよ。

目と鼻の先だったし、混雑する時間とズラして来たから思ったより簡単に忍び込めた。

あ、言ってなかったけど私、今ここでバイトしてるだよ。

フロントで使用中にしておいたからここにお客さんが来ることもない。

騒いだり外に出ようなんて思わないほうがいいよ。

ここね女の子用のボックスなんだよ。

壁が薄いし、うるさい人がいたら隣から聞こえてくるし、

今はちょうどチェックインの時間だから、外には女の子の人がうろうろ歩いてる。

それにほら、今のキミの格好。

パンツ以外何も履いてないんだから外に出ようものなら大騒ぎになるよね。ふふん。

他の衣服は全部カプセルの外に隠しておいたから私の力無しで家に戻るのは難しいだろうね。

それより、ほらこーんな狭いカプセルの中で二人きりなんだよ。

あれあれどうしたのかな？急にを反らして

ふふ、仕方ないよね。だって、男の子だもんね。

中学のときかな。君は少しよそよそしくなった時期があって

どうしたのかなあって思ってたんだけど…

胸とか、見ないように意識してたでしょ？

でも…本当は触って見たかったんだよね？
今ここで君のねがい、叶えてあげよつか？はあ、はあ。

ぎゅ…んんー。はあ、はあ、ふふ。
不意打ちだよ。はあ、はあ

どうかな？わたしのおっぱい…
はあ、はあ…どんな気分？
幼馴染の胸の中に顔をうずめるって…。
恥ずかしい？ ドキドキする？

私は…とつても、とつても恥ずかしいし、ドキドキするし、くすぐったい…
はあ、はあ息も忘れるほど緊張する…

でもこうしたら…幸せすぎて、
もうこんな気持ち、言葉になんてできないよ…
それぐらい好きなんだよ。

ねえ…こうしてれば他の女のことなんて考えられないよね…
私を見て。私だけを見て…
はあ、はあ。

どうしたの？ 苦しいの？ ああ、パンツがこんなに盛り上がって恥ずかしいんだ。
でも大丈夫だよ。私が癒やしてあげるから
ここ…触るよ。いいよね？

ぎゅ、ぎゅ…ああ…固い…
私のせいでこんなになっちゃったんだね。苦しいね…
よしよし、いい子いい子。ゆっくりなでてあげるからね。
さわさわ…さわさわ…

こうすると気持ちいいの？
…大丈夫だよ。君のだもん… えへ。いっぱいさわってあげたいの。
ああ、案外あったかいんだね。熱いぐらい。

君も私のおっぱいにすりすりしていいんだよ？
恥ずかしくてできない？

ふふ、そうなんだ。実は私も言ってる…恥ずかしい…
でも…それなら君のここ…もっと気持ちよくしてあげたいな

パンツ脱がすね…。

だって苦しいでしょ。ほらじっとしてて。

はあはあ…

これが君の…

私でこんなになってるんだ…

だ、大丈夫だから…触る、触るからっ！

でもその前に…ぎゅ…

君のお顔はずっとここ。

私の胸の中にいなくちゃだめ…

だって好きなんだものね。おっぱい…

そのまま楽しんでいいよ。うん。

私もドキドキするけど、こうしていると温かい気持ちになって、嬉しいの…
それにいなくなると収まりが悪いとか…寂しいんだもん…

ほら、さきっぽ触るよ…

ん、ふう…あ、ぴくって震えてる。

ふふ。かわいい。

ぴく…ぴく…んふふ。

すごいね、触るたびにぴくぴくして生きてるみたいだね。

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅー。えへ。きもちいい？よかった…

じゃあ…指先で…皮の上をそーとなぞっていくよ。

そー。んー。そおー。わっ！。震えた！ふふおもしろい！

そー。そー。あ！またぴくって。

どお？んふふ。やだやーめない。

やめないよお。

そおー。ふう、ふう。
さわあー。んふふ
ゆーっくり、ゆっくり。

はあ、はあ…かわいい〓

震えてる…初めて聞く声…
そんな切ない声出ちゃうんだね…
そー。そー。うふふ。

私が指を動かすたびに大きくなって、震えて…。
きもちいいねー。そー。
そーつとふふふ。
熱くなってきたし。そろそろ私も上着とスカート脱ぐよ。
ちよつとおっぱい離れるけど我慢してね。

よいしょ。ん、はあ。
いいよ、目をあけても。
白いブラと白いパンツ…。
君はこういう清楚な感じのが好きなのかと思ったけど、どう？

あ、ごめんね。
ほら、ぎゅー。
一秒でも早く、私の胸に甘えたかったんだもんね。
ほんとにごめんね。

はあ、はあ、はあ…どうかな〓
これが君がずつとさわりたかった胸。
どうかな？
うん…やわらかいでしょ？えへ〓

ん、あ、
はあはあ〓うう…
あのね…きみの唇が…触れては離れてくの…ん、あ、はあ、
切なくて、どうにかなっちゃいそう。

私もする…君のこと気持ちよくする。。

はぁー。

どう？私の吐息。君の首に、耳にかかって気持ちいい？

そうなの？でも、君のここはそうは言っていないよ。ふふ。

おちんちんだけじゃなくて、身体全体がぶるぶる震えてるよ？

よしよし。いい子、いい子。ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。

にぎにぎ、にぎにぎ。うふふ。

はぁ、はぁ

目も、耳も、鼻も、皮膚も、君の敏感なところ全部が私のもの。

1mmの隙間もないぐらい、全部、全部私で埋めてあげるんだ。

他の女なんて割り込ませない。

あれれ、どうしたの急に怯えて。

よしよし。ぎゅー。はぁ、はぁ

汗ばんだおっぱい、エッチかな？

興奮して、汗びっしょりかいちゃった。

でも、したかったらちゃんと息していいんだからね。

ん、ぁ、吐息、んん

大丈夫？変な匂いしないかなあ？

うん。いいよ。

むしろいっぱい嗅いでくれると私は

ん。ぁ、そんな脇まで んん。恥ずかしいよお

いや。ん、はぁ、はぁ、ひゃっ。うう…

どう？エッチな匂いする？はぁ、はぁ

ね、おっぱいにキスしてくれる？

うん、してほしいの。して…

キスして。ちゅ、ちゅって。

（穏やかに感じて）

んん／＼あ、あ、きみの唇／＼はあ、はあん、好き…／＼

あ、あ、あん…すって…もつと、あ、あ、そう…。そう／＼

よし…よし…／＼おっぱいやわらかいね！

いい子だね…はあ、はあ。

やばい、汗がものすごい出てきた。

冷房かけてるのに、熱いよお／＼

あ、そんなに汗、吸わないで／＼恥ずかしいよお、ううう／＼

でも嬉しい、君が…そんなに私のこと必死で求めてくれてるの、

はあ、はあ、よしよし、よしよし、ん、んん／＼

溶けちゃいそう…気持ちいい。

はあはあ、私もおちんちんいじめてあげるね。

にぎにぎ、にぎ、にぎ、んふふ。

はあ、はあ、声大きくあげたらだめだよ。

にぎ、にぎ。ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。

ほらあ、だめだよ。

隣の人に聞こえちゃうよ。

はあ、はあ、

ふふ、ふふふ…

この状況ってどう考えても私が君に連れ込まれて、エッチなことされてるようにしか見えないよね？

私が訴えれば、君はもう明日から学校に行くどころじゃなくなっちゃうよ。

そうになったら、君は一人ぼっちになっちゃう。はあはあ／＼

大丈夫。私が愛してあげる。ん、あ、あ、

キミがどんなことになっても私は絶対に見捨てたりしないから。

ほら、もっとおっぱい舐めて…して。

そう、吸って、おっぱい吸って／＼

はあ、はあ／＼ そうだよ／＼ん、あん／＼
この狭い空間がすべて。

私とキミ、ただ二人だけ。

私以外何もない。むしろ、それ以外いらないよね？

んああ／＼乳首／＼ いい。いい／＼

はあはあ、こんな幸せなのに、こんな満たされてるのに。
それ以上を求めようとするとかありえないよね？

そう、はあ、はあ、ああ／＼ そうだよ。私だけいればいい。私だけが君のすべて…。

あ、ああ／＼、それ／＼すりすりって、顔を動かしてくれるの、すっごく嬉しい、ん、はあっ／＼
キミのほうから、私に甘えてくれるの？

んん、あ、ああ／＼

よしよし、はあはあ、いい子。いい子だよ。ん、あ、はあ、んん／＼

3. おちんちんをもっとしごいてあげる

ほらもっと近くへおいで、

かわいいキミへのごほうび。おちんちんをもっとしごいてあげる。ん、はあ／＼
ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。

なでなで、さわさわ。はあはあ、優しく、さわさわ。かわいい、かわいいなあ、うふふ。
私のお手々に包まれて、ぶるぶるふるえてるの見てるの好きい／＼ はあ、はあ。

ああ、かわいい。 どうしてほしいのかな？

このまま、やさしく指でいじられたり、にぎにぎされたい？
それとも…

もっと強く、上下にしごいてほしい？
うふふ。そうだよね、知ってたよ。

しごいてあげる。

じゃあ、いくよ。

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。しこ、しこ、しこ、しこ。

ん、はあ、はあ、どう？

しこ、しこ、しこ、しこ…

ああ、わかる、さつきよりずっと大きくなって、はあはあ／＼
私の手でしごかれて、熱く固くなって、ああ、興奮してきた。

私も気持ちよくなりたいな／＼

キミだけが気持ちよくあえぐのを見られるだけじゃ悔しいでしょ。

ほら、気持ちよくさせてごらんよ。今すぐ目の前にある乳首にしゃぶりついて、おちんちんをいじめられる仕返しをしてごらん。

んあ／＼あん！あんあ、しゅごい／＼

んんっ、ふあっ…うんっ！はあ、はあ、あはあ…んんっ、んう…

すご、あ、んん／＼

れも！やめないよ！しこしこ、しこしこ。はあうん／＼

はあ、はあ、そんなになめなめされても、

どんだけ気持ちよくさせられても、んあ、んん／＼

どんなに幸せな気分になせられても、絶対やめないもん／＼

君が私と結ばれることが、んあっ／＼

君が私に支配されることが！一番幸せなんだって、んん。あああ！！
かららに、教えりゆまで…私、私、あ、ああ／＼

もっと、舐めていいよ、どんなにイカされても、

君を私のものにしたって気持ちちは、絶対負けない！負けないもん！

だから…嘸んで、ん、嘸んで／＼ああ、そう、あ、ああ、
君の、舌使い、あ、ああ、エッチ／＼ん、あ、はあん／＼

えへ、えへへへ、吸われてるうう、君が、赤ちゃんみたいになって、
エッチなことしてる私に興奮してるねえ、ああ、うれし、うれしい//
あ、はあ、はあ//(*、A、*)

やばい、やばい// そんななめたら、あ、ああ、やば、やばやばやば！
はあ、はあ、れも、やめない！

やめないよおー。君は私に気持ちよくさせられるの！

頭の中とろとろになって、私のことしか考えられなくなるぐらい気持ちよくするんだから。はあ、
んっ//

しこしこ、しこしこ、はあ、はあ、

んん//はあはあ、

君のおちんちんが、んんっ、どんどん私の手で、膨らんでるへ。
幸せ//もっとなめて。おっぱい吸って//

ん、んん// あ、あ、あ、んん//いや//

君のおちんちんさわさわわしてるだけで、私幸せなのに。

そんなに、泣きそうな顔で

声を出すの我慢しながらでおっぱいしゃぶってきて…、はあ、はあ、
…んだよお。

どんだけ、私を萌えさせれば気が済むんだよお！！！！！！//

あ、ああ、かわいい！かわいいよおお！

うふふごめんごめん思いつき声出しちゃったねえ。

でも君がいけないの、君が可愛すぎるのがいけないの！

かわいいなあ、かわいい！しゅき、しゅき//

しこしこ、しこしこ！しこしこしこしこ。

はあ、はあ、かつこいい君の顔が、涙目で私のおっぱいにしがみついて、
ブースの外に声出さないよう、びくびく震えて、はあん//
恥ずかしさと、切なさで、私に甘えてくるのも！

ペロペロして、おっぱいにキスしてくるのもお、全部全部かわいい、かわいいよおお//

はあ、はあ、大きな声出すのやめてほしいの？うふふ。

でもね。残念だけど私には見つかるデメリットあんましないんだよね。
むしろ見つかってほしいまである。ふひひ…

だって、見つかったら君は社会的に死んで、
君の周りには誰もいなくなる…

そしたら私だけがそばにいて…私に逆らえなくなる…。はあ、はあ。

まあでも、私ももつとこの中で君とエッチしたいから我慢してあげるよ。ふひひ。

ああ…もちろん君をいじめるのは、やめたりしないから…

君は声をあげるの我慢し続けないとね。ふひひ。

見つからない保証はしないけど。

4. 耳なめてあげる。声をあげて社会的に死のうか？

じゃ、こんどは耳の穴をいじめてあげる。
ここも敏感なところなんですよ。

さつきから、吐息はあはあしてるだけで震えまくってるしね。

ほら、おちんちんも、しこしこしながら、耳の穴を攻めちゃうよ。
んー。ちゆるちゆるちゆるちゆる、
じゅ、じゆる、んんー。はあ、はあ、しこしこ。しこしこ。

ほーら、我慢、我慢だよ。

男の子の声なんてしたら、一発で気づかれちゃうんだから。が・ま・ん。

うふふ、いい子。

じゆるじゆる。じゆるじゆる。

ちゅ、ちゅ、れろれろれろれろ。

ん／＼ん／＼

ああ、いいよ。君はもつとおっぱいガンガンせめておいで、遠慮しないでいいの。
隣に聞こえないぐらいに我慢はしてあげるから私も気持ちよくして。
ん、ん／＼そう、そうだよ。はあ、はあ

ちゅ、ちゆるちゆるちゆるちゆるん。

おちんちんから、いっぱい我慢汁出てる。かわいい、

はあはあ、

ねえねえ…君は何に一番興奮してるのかなあ。

わたしの特盛のおっぱい？

大きくて柔らかくて、さっきからすごい勢いで舐めてるもんね。
気に入ってくれて嬉しいよ。ん、あん／＼ふふ。

それとも…

こうやってお耳なめなめされてること？

ちゅ、ちゅ、ん／＼

それともおちんちんを、私の手でしこしこいじめられてることかな？
ん、ふう／＼しこしこ／＼ しこしこ／＼

それとも。

おっぱい吸って、私が君の耳元で、ん、あん／＼
時折こんなふうに、私があんあん喘いじやうから、
外に声が聞こえちゃうんじゃないかっていうこの状況かな？ん、あ、はあん／＼

ふふ。そうだね。ああん／＼

私もだよ。

こんな狭いところでいづバレルかわからないってのに、
なんでこんなに興奮するんだろうね、んふふ。

んー。れろろ、れろろー。ん／＼はあ、
ちゅ、ちゅ、ちゅ、ん／＼ あ、ん／＼

さあ、キミはいつまで我慢できるかなあ。

お耳とおちんちんの快感に我慢できず、声出しちゃうの…ああ楽しみだなあ／＼

ねーえ、早く。早く声出してよお…声ええ。まだあ？

えへへ。じゃあお耳もつとはむはむするー。いじめちゃうよー。

んー。あーむ。あむあむあむ。ちゅるる。ちゅ。ちゅ。はむはむはむ。

んー♪へへ、そうそ、君もおんなじように舐めていいんだよ、

私に対抗する権利はちゃんとなげるから。

はあ、はあっ…ああんっ、んんっ…ふう、ふう…ふあっ、ああん…はあ、はあ…
ちゅ、ちゅ。んー。あむあむあむ。じゅるじゅる。じゅるじゅる。はむはむ。

だって君がいけないんだよ。

私以外の女なんかにしっぱを振って…私のこと不安にさせるから。

らから、んちゅ、ちゅ、これはお仕置きだよ。

はむはむ。ちゅ、ちゅ…

女の子は私以外いないよね？ね？

君はこれからずーっと私だけを愛していくんだよ。

ふふふ。いい子だね。

じゃあ声出して。

我慢せず、おっきい声あげて。気持ちよくなろっか。

れろれろれろ。

男の子って馬鹿だからすぐ浮気するんだってね。

ほんと信じられない。あむあむ

いくら言ってもわからないなら実力でわかせてあげるんだあ(ヤンデレの笑み)
死ね！死ね！社会的に死ね！

ふふ、そら、イッて！声あげて！叫んで！！

じゅるじゅるじゅる、れろれろれろ。

れろれろれろ。ちゅ、ちゅちゅ、ちゅー。ちゅるちゅる。

はあ、はあ、はあ、

しこしこ、しこしこしこ！しこしこ！

ほーら、我慢できなくなってきた。我慢できなくなってきたねー。
いいんだよー。私にイカされて、女の子みたいに声出しちゃって。
君のことはこれからぜーんぶ私が面倒を見てあげるんだから！

毎日こんなふうにおっぱいに包まれて、おちんちんさわわされて、

幸せな生活ができるんだからいいよねー。

はーむ。れろれろれろ。

そんな幸せなことってないよね？

んーちゅ、ちゅるちゅる。

ほらー負けちゃえ、

負けて！負けろ！

イカされて…声あげて…

私にずーっと甘えて君は幸せになるんだよ。

しこしこしこしこ、んはあ、はあ〓

ほら、いって！いって！いっちゃええー！

はあ、はあ、はあ、はあ、

うふ、ふふふ、いっぱい出た！出ちゃったねえ〓

でも、なんでかな？

どーして君声出してくれないの？

君が我慢できなくなつて、悲鳴みたいに震える声が聞きたかつたのに！
私に聞かせてほしかつたのに。

ねえなんで。どーして？

どうして聞かせてくれないの？

もしかして

私のこと、嫌いなのか？

5. 君が出しするまで腰を振るのをやめない！【騎乗位】

私のこと嫌いだから、声出してくれないの？

違う？

そうだよね！

君が私のこと嫌いになるなんてあり得ないもんね！
うんうん。

じゃあ、あれかな…。

まだ他の女が頭の中にチラついているせい…？

なら、もっと気持ちいいこととして忘れさせてあげるしかないね。
ごめんね、おっぱい名残惜しいかもしれないけど、一旦離れるね。

代わりに、ほら、君のうえに乗って、
んしょ。

ふふ、天井は少し余裕があるぐらいかな。高めに作られててよかったね。

はあ、はあ。わかるよね？今私履いてないんだよ。
それが君の大事なところにあたってる。
やらしいね。ドキドキしちゃうね。

君におっぱいをペロペロしてもらったおかげで、
私のこはもうぐちゅぐちゅ。
今すぐにも君のおちんちん飲み込んじゃうぐらいにね。

まだできるでしょ？

私も君の可愛い顔見てて、我慢の限界なんだよお／＼

君の初めてちょうだい。

嫌いじゃないならいいよね？ね、ね？

でもじゃない、いくから挿れるからもう我慢出来ないから。

腰をあげて…ゆっくりんっ／＼ あ、ああ／＼これが、君のおちんちん…

はあ、はあ／＼んん

ふふ、うふふふふふ。

もう離さない。この中に出すまで、君のこと離さない！

もし途中で抜いたり萎えても思いつきり声を出す！

はじめからこれが目的で、君のこと連れてきたんだよ！

私の子供を作るの。

そうすれば君はもう私から逃げられない。

他の女なんて関係ない。

一生私のそばにいるの…くふふ／＼

さあ、孕ませて（耳のそばでねっとり）

ん、あああ！

によきって、によきってなった！急におちんちんがによきってなった！

はあ、はあ、んん大きい／＼

はあ、はあ、はあ…どうしたの？

もしかして、キミ。コーンしてるの／＼？

私に束縛されて、虐められて…

うう／＼ そうなんだ。…変態／＼

でもそうなんだ…

好き…。好きだよお。

ねえ、こっちきて…

おっぱいに顔埋めて。

うん、そのまま吸って。

ん、んん…はあ、はあ。きもちいい。

どう、入れながら吸う気分は？

うふふ、そう。すごいきもちいいんだね？んあ、はあ、はあ

もう離さないから、ん、はあ、はあ、

そのまましゃぶりついて、気持ちよくなって、いっぱい吐き出すまで舐めてていいよ。

ん、あ、ああ、また大きく…すごい。

ふふ、ふふふふ。やっぱりこういうのが好きなんだあ

いいよ。どっちみち君のこともう離さないから。

このまま私の中で赤ちゃんを孕ませるまで何度も何度も絞られるんだよ。

んんあ またによきつて

はあ、はあ…絞られろ、絞られろ はあ、はあ…

君は私の好きなようにされちゃうの。

一日中私のことだけを考えて過ぐすんだよ。

んあ、また！また んん まだ大きくなるんだ…

こういうのに君は興奮するんだね。変態 しゅき

うふふ。いっぱい愛してあげる。いっぱい言葉でいじめてあげる。

あんつ 大きい 硬い ん、あ、ああ

動けるかな…。こんな大きくなるなんて思ってた (痛くて苦しい)

ね…ちょっとだけ吸ってくれる？はあ、はあ

おっぱい吸って欲しいの。そしたら動くから

吸って 吸ってよお

(ゆったり温かい感じで気持ちよくなってください)

ん、んん。そう、はあ、はあ、んん

あ、ああ、また膨らんでる…私の声でまた大きくなってくの、んん、はあ、はあ
優しい舌使い、んあ、んん はあ、はあ、気持ちいい。

はあ、はあ、はあ。ああ、愛液がくちゅくちゅっていつてる。どんどん濡れてくる。君の舌が気
持ちくて、んん、あ、

好き、嬉しい、そう。そうだよ。もつとなめなめして／＼
うん。乳首の周りが好き…んっ／＼ 大丈夫。大丈夫だから。

はあ、はあ、はあ、んん、いい／＼ 気持ちいいよ。ん、んん、はあ、はあ、好き／＼
ふう、ふう、はあ、はあ、

そろそろ、動くよ（少しつらそうに、でも嬉しい）
大丈夫。キミだって早くしたいでしょ。いくよ。

（上下に動く）

あん／＼あん／＼んん、はあ、んっ／＼ ああ、んん、大きい／＼ 大きい／＼
ん、あ、あ、ああ、っんん／＼ ああ、いや／＼ 大きい！！んああ／＼
いや、いや／＼ いやあ！そこ！だめっ！ああ、あん、あん。

え、抜いちゃだめ！！

ちがう、ちがうの、気持ちいいんだよお！
あん、あん／＼あ、あああ！はあん／＼はあ、はあ。
気持ちいいの、気持ち良すぎて、このままじゃ君のおちんちに屈しちゃうんだよお！
あん！あん！あん！あん！

君は？君はどう？

ん、はあ、んん／＼あん／

わたしの中で、はあ、はあん／

いっぱい広がってるのにきつく締め付けられて、はあ、はあ。

気持ちいい？はあ、はあ、よかった。

気持ちいいね？ああ／＼あん、あん／＼んん／＼よかった。

それでも理性があるから、んあ、はあ、はあ、はあ、ここには出せないものね。

へへ、へへへへへ。

じゃあいっぱい動いちゃうもんね。

きついけど、気持ちいいなら、キミが気持ちいいのわかったら動くしかないよね。

出して、いっぱい出して！赤ちゃん作ろう！

ん、あ、あん／＼あん、んん／＼んあ、あん、んん／

ん、んん／＼ 大きい／＼ いい、いい！ あ、ああ、いい。

こういうも興奮するんだよね？

女の子からされるの。女の子に無理やりされるの。

んん／＼ふふ、口じゃなくておちんちんが返事してるの可愛い。

自分じゃわからないかもしれないけど、大きくなってるんだよ。私の中をどんどん広げてくるの／＼

この変態さん、ふふ。

それ、もっと上下に…んん！それ、ん、んっ、んんっ／＼

あ、あっ！ああ！んん／＼いい／＼んん！もっと、君も動いてよ／＼

そう、あん／＼ あん！あん！あん！あん！あん！あん！あん！あん！あん！あん！

ほら、おっぱいも触って、いじって！

目の前でぶるぶる揺れてるおっぱい触ってよ。ん、ん、ん、

そう、そう、はあ、はあ。もっと強くもんで欲しい。

君にいっぱい触って欲しいの、触ってほしいの！

んあ、んんっ、あん／＼

あ、ああ、そう。んん／＼はあ、はあ、んん、ん、あ、あ、君が触ってくれるの嬉しい／＼
君に手でいじられてるの、んあ、いい／＼はあ、はあ、もっといじって。

私も動くから、んん／＼動くから！

あ、ああ、んん、いい、いい。おっぱいも、子宮も、

君にいじられて、はあ、はあ、いっぱい触ってもらえて、

あん、あん、ああ、んん／＼ これいっちゃうかも、私が先にいっちゃうかも！

はあ、はあ、はあ、これ！いい！いいよお／＼

ふふ、ふふふ。

ねえ、ちゃんと出すんだよ。

私の中に出すんだよ。外に出したら許さないから。

私に赤ちゃんができなかったら君のせいだから。

確実に孕ませるつもりで、勢いよく注ぐんだよ。

はあ、はあ、んん／＼

また大きくなってく、あ、あん、ほら、こういうのがいいんだよね。

君の赤ちゃん、赤ちゃんほしい／＼

はあ、はあ、欲しいの、欲しい。君のこと全部全部全部っ！

くふふ…ああ、聞こえる隣のお客さんがドンドンしてるねえ。

声聞こえちゃってるみたいだねえ。私の声、いっぱい響いてるのかなあ〱

はあはあ、でも、大丈夫。私の中に出せば大丈夫。

あとは全部私に任せて。君のこと助けてあげる。

一生私がキミの面倒見てあげる。

だから出して。いっぱい出していいよ。

そんできかせてごらん、私のこといかせて〱

君もこんな狭い箱突き破るぐらいのおっきい声出して他の人に聞かせてあげてよ。

ん、ああ、そう、そう、あん、あん、あん、

興奮するでしょ。

どっちみち君はもう私から逃げられない。

君は私と一緒に運命なんだから。はあ、はあ…

君は私のものなんだよ。

おおおおおんん〱

なんだよお、まだ大きくなるなんて聞いてないよ？

はあ、はあ。おちんちんが暴走してるううう。

固いいい、大きくて、かたい！ああああ、ああ、いい、いい〱

んあ、んん、あ、ああ、もう止まらないね！、止まらないんだねっ！！

ああああ、いくうう、いかされるうう！！

私も、私もだよ。キミの精子ほしい、欲しいのおお。

赤ちゃん欲しくてほしくて、いっぱい膣が、ぎゅ、ぎゅって絞ってるの！！

んあ、あ、ああ、幸せ、いっぱいちょうだい。ちょうだい！！

あん〱 ああ、あんっ、んん〱 いい、いい〱

大きいよおお、大きいのがお腹まで届いてるよお。あ、あん、んん、

…ちやつてる。

私の中で変身しちゃってる！

こんな、こんな凶暴なおちんちんに、あ、あああ！いくううう！

あん！あん！あん！いい！いい！ついて！ついてえ！ついてえ！もつと、もつとお／＼

くる、くるううう！あああああ！

はあ、はあ、はあ、はあ、ふふ。いつちやった！いつちやったよ。

セックス気持ちいいねえええ！つふふふふふ。

これからキミとずっとこんな気持ちいいことができるんだねえ。嬉しいよお。

ふう…。

でも。なんでかな。

なんできみ…まだ射精しないの？

6. そんなに私の赤ちゃん作るのが嫌なのかな？【中出し】

ふふふ…ははは。

えらーい。えらーいね。

あんなにおちんちんびくびく震えてるのに出すの必死で我慢できて…えらーい、えらいだよ。ふふ。

そんなに中に出すのが嫌なんだ…

なんでかなあ。そんなに私の赤ちゃん作るのが嫌なのかな？

ド変態のクセにさ…。(吐き捨てるように)

でもさ…そんな君を見てたりますます意地悪したくなっちゃった。

今私の中に出さなかったこと、後悔させてあげるよ…

よいしょ…

ちよつと腰を浮かせて…ん、ん

どうするって？

このままじーっくりキミが射精するまで私の腰でかき回してあげるの。

ほら…腰を浮かしたまま。んっ

おちんちん、ぐるぐるかき混ぜて、ん

ん、あ、はあ、はあ、んくね、くね。くね、くね…ん

ほーら頑張れー、幼馴染のおまんこがいじめてくるけど、負けないでね。くふふ…

ああ、ああ、んん、ん

ぐーる、ぐーる、はあ、はあ、

くね、くね、ん、ああ、はあ、

ほら、見て見て――腰のそこ。

君のおちんちん啞えてかき回されちゃってる。めっちゃくちやエッチじゃない？
でも、腰が浮いてるのに、きみのおちんちんがかいせいでこれでもかなり深く入ってるんだよ。
はあはあ――

ぐーる、ぐーる、んん、いい――はあ、はあ、
ぐるぐるー。ぐるぐるー。ん、あ、あ、ん――
あ、ああこれいい――きもちいい

え？いつまでするのか？

言ったよね。逃さないって？
私を孕ませるまで何度でも絞ってあげるって。

君のためなら朝までだって腰ふれるよ…
うふふ。

ほら、もつとみて――
君の目の前でくねくね、くねくねって腰ふってる私を見て。
いっぱい、エッチな汁が垂れてきてるね。はあ、はあ、
キミの我慢汁も混ざってるのかな。ん、あ、はあ、はあ。

ぐーるぐーる。ん、あ、んん――いい。
いったばかりなのに、ふふ。全然キミのちんちん放したいって思わない。
むしろどんどん好きになつてく。飲み込んでく。欲しい、欲しい、ああ、いい。気持ちいい。
好きいい、好きいい…

キミは十分頑張ったよ。
偉ーい、偉い。
いーっぱいい我慢して幼馴染を妊娠させないようにして、本当に偉いねえ。
すごい精神力だよ。

でも私はそれ以上の執念でキミを追い詰めるから。はあ、はあ…
どんなに逃げて、どんなに拒絶しても、私のものにする。んあっ…

ふふ、こういう意地悪が大好きだって知ってるのって私だけだよ。
いいんだよ。そんな君を私は愛せる。はあ、はあ、
だから君を幸せにできるのは、私しかないでしょ。

そうだよ。じゃ、出そっか。

ほら、負けて楽になつて。

いっぱいどくどく注いじゃおう。

横になるね。よつと。ふふ。

君もよこになつて。うん。もちろんおちんちんは入れたまま。
ほら私の耳元までおいで。

うふふ。よーしよし。いい子いい子。

ゆーっくり。ゆーっくり中にだしますよおー。
力を抜いて…吸ってー。すうー。
はいてー。ふー。

そしたら、おしっこみたいに、
おちんちんから自然に精子が抜けていくのをイメージして…。

そう…しー。

ああ…はあ、はあ、どく、どくっておちんちんが脈うつてる。
ん、あ、ああ、注がれてる…はあ、はあ、
あったかい…入ってく、はあ、はあ、嬉しい…

これが…精子。赤ちゃんのもと…はあ、はあ、はあ、
もう限界だったんだね。ふふふ。

出すのは気持ちいいでしょ？

ねえ、もっとしっかり注いで／＼

ん、ん／＼あ／＼あったかいのが中にはいつてく…
ん、ああ…／＼そう、あ、はあ、はあ、あったかい／＼嬉しい／＼

どく…どく…どく…どく…どく。

こんなにつぱい我慢してたんだね。

いいんだよ。もっとおいで。

ちゃんと受け止めてあげる。はあ、はあ、はあ、

落ち着く。

夢の中にいるみたい…はあ、はあ、はあ、
嬉しい、ん。赤ちゃん。赤ちゃんできるかなあ、えへへ。

全部出して…出して…出し切って…そう、
全部ちょうだい。君の全部、私の中においで…。

どく、どく、どく、どく。ああ、幸せ／＼
気持ちいい。ん／＼

すー。すー。すー。

7. 幼馴染みとそれから6ヶ月後

ただあいま。

えへへ。

ねえねえいいニュースがあるんだよ！

今日病院行ってきたけど。ついにだよ。ついにできたよ！

あれから半年間なかなかできなくて

どっか悪いんじゃないかって思ってたけどよかったあ。

まさか二人して退学になるとは思ってたけど、

一緒にいられる時間が増えてこれはこれで結果オーライだったね。

あれ、どこか出かけるの？

バイト！？ いつの間にバイトなんて初めてたの！？

どこ、どこ！？

喫茶店…ふーん。

くんくん…

くんくん…

他の女の匂いにするっ！？

そっか…赤ちゃんができたのに、

そうか。結局君は…そういう人間なんだね…。

やっぱ足ぐらい折っておかなきゃダメだったかな…

え、何件も回って雇ってくれるのがそこしかなかった？
う、ううう…そりゃ君が頑張るのはいいけど。

絶対浮気しない？

…他の女の子と会話しない？

するんじゃない！！ダメ！そんなダメだからっ！！
もおっ！ダメって言ったらだめ！

昨日だって買い物行ったときに他の女の子に声をかけた。
小さい親とはぐれてる子でもダメなのっ！

ああもおうるさいうるさい！
えいっ…

えへへー。のしかかりー。ぎゅーー。ふふふ。

すんすん。えへへー。君の匂いしゅき…。

すん、すん。ぐすん…
いっちゃ…やだ〓

いけないでえ。
…やだよお。

君はそんなことするつもりないかもしれないけど、怖い。

怖いものは怖いんだよお〓

うう…。

ほんとに？

じゃあ、

よしよしして？頭なでて…？

んゝゝ。

もつと。もつとだよお。

よしよしって。

えへへ。しゅき。しゅき //

じゃあ、わたしもお返しに…

はーむ。はむはむ。ちゅちゅ。

んふふ。ちゅ、ちゅちゅ、ちゅ。

気持ちいいね。えへへ。

ちゅ、ちゅ、れろれろれろ。れろれろれろ。

ん？ あ、ほんとだ下半身がたっちゃってる
このままじゃバイトにいけないねえ。

あー、ごめんごめん、わざとじゃないよー。
ん。やーだ。

今日はおちんちんじゃなくて、お耳をはむはむしたい気分なの。

はーむ。ちゅ、ちゅ、ちゅ。れろれろれろ。
れろれろれろ。れろれろれろ。

なんで私に相談しなかったんだよ。

勝手にバイト先決めて…

そりゃ、喫茶店だったら反対するかもしれないけどさ…。

内緒でお仕事決められると、やっぱり悲しいじゃん。

そう、怒ってるの！ちゅちゅ、ちゅ、ちゅ！

れろれろれろ。れろれろれろ。

そりゃ、わたしに原因があるのはわかるけど…

君とはちゃんと心通わせていく努力するって決めたんだから…

だから、おしおきなのです。

ちゅ、ちゅ、あむあむあむ。あむあむあむ。

今日はそのおちんちんでバイトにいけないよ。
女の子に見られて、幻滅されればいいんだよ。

あむあむあむ。れろれろれろ。

れろれろれろ。ん。おいしい。お耳。

ほら、もっと奥までなめちゃうよー。

れろれろれろ。あむあむあむれろれろれろ。

はむはむ。ふふ、我慢汁が出てるのかなあ。

おちんちんそんなにカチカチにさせて、可愛い。

やさしくなでてあげるね。んん、さわさわ、さわさわ。

れろれろれろ。れろれろれろ。

ん、生で触ってほしいの？だーめ。

ズボンの上から、いきたくてもいけない苦しさを味わうの。

バイト中君は私のことだけを考えてればいい。

そうだね。帰ってきたら、触ってあげる。

はあ、はあ、あむあむあむ。ちゅ、ちゅ、ちゅ。

さわさわ、さわさわ。んん。しゅき、しゅき。

ふふ。

おーわり。

もうさわってあーげない。

お耳も舐めてあげない。

んー＝

こら、なにしてんの。

勝手にわたしのふとももにおちんちんすりすり押し付けちゃだめでしょ！

おねだりしてもだめ！だーめ。

言っただでしょ、お仕置きなの。

ほら、終わり。

んふふ。早く帰って来てね。
待ってるから。君が帰ってくるの…。

帰ってきたらちゃんと続きしてあげるから…
ちゅ。

ふふ。いってらっしゃい…。
待ってるからね。